

## I クラスアドバイザーについて

各クラスにはそれぞれクラスアドバイザーが決められています。研究上の指導，留学や休学の相談など，気軽に研究室のドアをノックしてください。クラスアドバイザーに関する質問は英米語学科事務室または英語教育専攻事務室（Ⅱ研究室 MAP(p.5)参照）に直接，もしくは下記連絡先に問い合わせてください。

### 【英米語専攻/英語コミュニケーション専攻】

英米語学科事務室(0561-75-2609:平日9:00~17:00)

### 【英語教育専攻】

英語教育専攻事務室(0561-75-2056:平日9:00~17:00)

## ●2024年度 英米語学科1年次生クラスアドバイザー●

### 【英米語専攻】

A	ケイコ ハンフリー 恵子
B	フィリップラッシュ Philip Rush
C	ニイ アキコ 新居 明子
D	ブライアンマクニール Brian McNeill
E	カイ キヨタカ 甲斐 清高
F	トレバー アストリー Trevor Astley
G	ニコラス ブラドリー Nicholas Bradley
H	マサキ ショウ 真崎 翔
I	コダマ シゲアキ 児玉 茂昭
J	オクダ シュンスケ 奥田 俊介

### 【英語コミュニケーション専攻】

L	カトウ ヨシタカ 加藤 由崇
M	トーマス ケニー Thomas Kenny
N	ケビン オットソン Kevin Ottoson
O	ヨシモト ミカ 吉本 美佳
P	サイモン ハンフリー Simon Humphrey
Q	カワハラコウジ 川原 功司

### 【英語教育専攻】

S, T	オオタ ミツハル サトウ カズヨシ 太田 光春、佐藤 一嘉
	マッシュュー ホワイト タカハシ ナオコ Mathew White、高橋 直子
	ヤゴ トモコ 矢後 智子

## クラスアドバイザー活用方法

- ① 各教員のオフィスアワー(予約なしで自由に訪問できる時間帯のこと)は、時間割冊子で確認することができます。
- ② クラスアドバイザーが研究室に不在のときや緊急に連絡したいときは、メールしてください。各先生のアドレス(大学のGmailのアドレス)は、学科ホームページ(<https://eibei.nufs.ac.jp/>)の教員紹介の人名をクリックして確認してください。
- ③ 各教員の研究室の場所は6号館には各階の階段横、7号館は英語教育専攻事務室前(2階)に掲示しています(もしくは研究室 MAP(p.5)を参照)。
- ④ 教員が研究室に在室しているかどうかは、6号館2階エレベータ横の在室ランプでも確認できます。ただし、7号館2階研究室は在室ランプでは確認できません。
- ⑤ 教員や学科からの呼び出しは、ポータルサイト及び学科掲示板(英米語学科事務室前又は7号館2階エレベータ横)を通して行われます。また、自宅のパソコンや携帯電話でも確認できます。登下校の際には、必ず目を通す習慣をつけてください。呼び出しがあったときには、速やかに申し出てください。



### ～英米語学科 豆知識～

英米語学科は英語で“Department of British and American Studies”と言うよ！

そのため略して“DBAS(ディーバス)”と呼ばれているよ！

## II 研究室MAP

### 6号館

#### 3階: 英米語学科研究室/言語教育開発センター研究室 3rd floor of Building 6: Dept. of British & American Studies/Center for Language Education and Development

WC	WC	階段	外国語担当専任講師共同研究室 Full-Time Lecturers Office (Matsumi, Mortali, Resuello, Shibata, Tran, Turk, Villanueva)	6309 古村 Furumura	6310 田地野 Tajino	6311 ケニー Kenny	6312 梅垣 Umegaki	6313 マクニール McNeill
EV	非常勤講師控室 Part-Time Faculty Lounge	外国語担当専任講師共同研究室 Full-Time Lecturers Office (Alp, Cosenza, Katsuta, Kato, Meizlish, Mizoguchi, Walters, Ziffo)	6304 加藤 Kato	6305 ブラドリー Bradley	6306 甲斐 Kai	6307 ハンフリー(恵) K. Humphrey	6308	

非常勤講師のメールボックスはこちら！

#### 6号館2階: 英米語学科研究室/事務室 2nd floor of Building 6: Dept. of British & American Studies

WC	6209	6210 ハンフリー(サ) S. Humphrey	6211 上田 Ueda	6212 吉本 Yoshimoto	6213	6214 オットソン Ottoson	6215 奥田 Okuda	6216 岡田 Okada
←K館へ	↑学科揭示板	英米語学科事務室 DBAS Assistants Office 言語教育開発センター事務室 CLED Assistants Office	6202 印刷室 Printing Room	6203 ラッシュ Rush	6204 川原 Kawahara	6205 新居 Nii	6206 真崎 Masaki	6207 アストリー Astley

学科からの重要なお知らせを掲示しています！

教員が研究室に在室しているかどうかここで確認できます。

#### 6号館4階: 言語教育開発センター研究室/教室 4th floor of Building 6: Center for Language Education and Development/Classrooms

WC	WC	階段	外国語担当専任講師共同研究室 Full-Time Lecturers Office 今井(Imai) 中土井(Nakadoi) 橋尾(Hashio)	644教室
EV	6401	641教室	642教室	

#### 6号館5階: 英米語学科研究室/教室 5th floor of Building 6: Dept. of British & American Studies/Classrooms

WC	WC	階段	654
EV	6501 児玉 Kodama	651	

### 7号館

#### 2階: 英語教育専攻研究室/教職センター研究室 2nd floor of Building 7: English Language Teaching Division/Course of Study for Teaching Profession

7201 会議室	7202 非常勤講師控室	7203 竹下 Takeishi	7204 大橋 Ohashi	7205 橋本 Hashimoto	WC	WC	7206	7207 太田 Ota	7208 佐藤 Sato	7209 英語教員ワークショップ事務室	7210 高橋 Takahashi	7211 福島 Fukushima <small>(英米語学科)</small>	7212 矢後 Yago	7213・7214 英語教育専攻教職センター事務室	階段
資料室	印刷室	↑教職センター揭示板			↑教職センター揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板	↑専攻揭示板
↑教職センター揭示板 ← 721・722														7216 村上 Murakami	7215 ホワイト White

### Ⅲ 学生生活について

#### 1. 単位制(履修要項「単位制」参照)

本学では、1学年を2学期に分割して授業を行う、セメスター制を採用しています。セメスター制では、1セメスター(半年間)の授業期間は15週間が基準です。科目の多くは1セメスターで修了し、それぞれの科目に付与されている単位(基本的に1単位または2単位)が与えられます。

単位は、教室内及び教室外の学習に対して与えられるものであり、大学で行われている授業形態(講義・演習・実習・実技)に必要な学習時間は次表の通りです。

##### <1単位の学習時間>

	単位	学習時間	内 容	
			教 室 内	教 室 外
講義・演習(1)	2単位	90時間 (毎週6時間×15週)	30時間 (毎週2時間×15週)	60時間 (毎週4時間×15週)
演習(2)・実習 ・実技	1単位	45時間 (毎週3時間×15週)	30時間 (毎週2時間×15週)	15時間 (毎週1時間×15週)

- ① 講義・演習(1)については、教室内における2時間の講義に対して、教室外における4時間の準備のための学習を必要とするものとし、30時間の講義をもって2単位としています。
- ② 演習(2)・実習・実技については、教室内における2時間の実習・実技に対して、教室外における1時間の準備のための学習を必要とするものとし、30時間の実習・実技をもって1単位としています。

#### 2. 授業時間(履修要項「授業時間」参照)

講時	1 講時	2 講時	3 講時	4 講時	5 講時	6 講時
時間	9:10~10:40	10:50~12:20	13:20~14:50	15:00~16:30	16:40~18:10	18:20~19:50

##### <Power-up Tutorial>

時限	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
時間	9:05~9:50	9:55~10:40	10:50~11:35	11:40~12:25	13:15~14:00
時限	6 時限	7 時限	8 時限	9 時限	
時間	14:05~14:50	15:00~15:45	15:50~16:35	16:45~17:30	

### 3. GPA 制度(履修要項「GPA制度」参照)

GPA(Grade Point Average)とは、各授業科目の評価をそれぞれの段階に相当する Grade Point に換算し、履修登録単位数で除して算出した成績加重平均値を示すものであり、学修達成度においてどの程度のレベルで単位を修得したか表すものです。

また GPA は、本学の長期留学や、英米語学科の中期留学などに申し込む際の応募条件としても使われています。

### 4. 公欠制度(履修要項「公欠・忌引について」参照)

本学では、特定の事由により授業を欠席した場合のみ、公欠が認められます。該当する事由等の詳細については履修要項「公欠・忌引について」で確認してください。

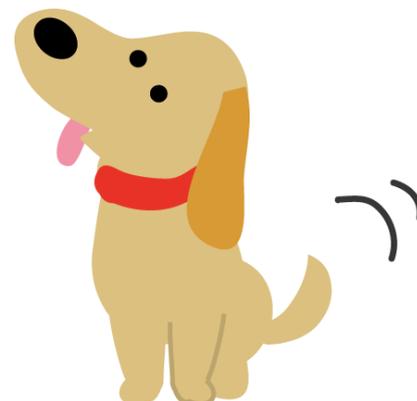
## IV イベントについて

### 1. 名古屋外国語大学英語スピーチコンテスト

毎年2期に英米語学科・現代国際学部の共催で開催され、全学科・全専攻の学生が参加可能です。出場者は決められたテーマに基づき、3分間の英語のスピーチを行います。準備講座も開かれますので、スピーチの書き方・話し方を練習することができます。詳細は、ポータルサイトにて改めてお知らせします。

#### ～英米語学科 豆知識②～

DBAS にはネイティブスピーカー教員がたくさん在籍しているよ！出身地はイギリス・アメリカ・カナダ・オーストラリアなど多国籍だよ！



## V 国際交流について

本学には、1か月程度の海外研修から最長2年までの長期留学ができるものまで、多種多様なプログラムが用意されています。長期留学制度については国際交流部にて配布している『留学ハンドブック』で確認し、興味のある学生は説明会に参加してください。

学科で企画している研修プログラムには、海外研修と中期留学があります。ここでは簡単な概要を説明します。詳細は説明会にてお知らせしますので、興味のある学生はポータル掲示または学科掲示板(英米語学科事務室前, 6号館2階エレベータ横又は7号館2階エレベータ横)で説明会開催日を確認し、必ず参加してください。

### 1. 海外研修

夏期・春期の休暇中に、イギリス、カナダ、アメリカ、オーストラリアなどの提携大学の協力を得て、4～6週間の「海外研修Ⅱ」、6週間以上の「海外研修Ⅲ」を実施しています。研修期間中は、ホームステイをしながら現地の大学や語学学校に通い勉強します。英米語学科の教職員が同行しますので、初めて海外に行く学生でも安心して参加することができます(1年次生から参加可)。※研修先は年度により異なります。

一定の条件を満たした学生には、「海外研修Ⅱ」については4単位、「海外研修Ⅲ」については6単位が認定されます。大学からの補助金が1人1回に限り支給されます。

また、複言語として履修する言語圏(フランス語、中国語に限る)への海外研修も、一定の条件を満たした場合は参加可能です。

### 2. 中期留学

アイルランドのダブリンシティ大学で、3か月を留学期間とする中期留学を実施しています。中期留学では語学学習だけでなく、現地で学んだ知識を活かしつつ、実際に海外で働くインターンシップも体験できます。具体的には、ホームステイをしながら期間中は午前に行われる英語集中コースで学びます。5週目以降は午前中の英語集中コースに加えて、午後にインターンシップを行います。

一定の条件を満たした学生には、最大16単位が認定されます。大学から留学費用の全額または一部補助があります。

※2024年度中期留学の募集は終了しました。2025年度以降の催行の可否についてはポータル掲示または学科掲示板で確認してください。